

鉄道車両の安全な運行と駅運用の効率化を支援する各種ソリューションを展示

「第2回 鉄道技術展・大阪2026」に出展

シャープは、本年5月27日（水）から29日（金）まで、インテックス大阪（大阪府大阪市）で開催される「第2回 鉄道技術展・大阪2026」に出展します。画像解析技術やAI技術などを活用し、鉄道車両の安全な運行と駅運用の効率化を支援するソリューションを展示します。

■ 主な出展内容

1. 画像解析技術を活用した車両検査ソリューション

鉄道車両の安全運行に欠かせない点検業務を、独自の画像解析技術によって省人化するソリューションです。車両床下機器の状態を検査するシステムやパンタグラフすり板の摩耗量を計測するシステムを紹介し、鉄道の保守管理業務における人手不足などの課題解決に貢献します。



車両検査ソリューション（イメージ）

2. RFID（※1）機器システム

RFID技術を活用し、車両や駅などに取り付けた電子タグから列車の位置や状態を把握するシステムです。ホームドアの開閉支援や車庫への出入管理、さらには車庫内の車両位置（在線）管理など、さまざまな場面で活用できます。



RFID機器

3. AIアバター駅係員【参考出展】

AIアバターが乗客からの質問に応じて、駅構内や周辺施設の案内などをおこなう、駅向けの対応支援ソリューションを紹介し、マニュアルやFAQ、各種案内資料を簡単に学習させることができるうえ、日英ほか多言語での案内も可能です。駅係員の業務効率化や省人化に貢献するとともに、インバウンドを含む来訪者との円滑なコミュニケーションを支援します。



AIアバター駅係員（イメージ）

4. 「Omject（オムジェクト）」【参考出展】

プロジェクション技術を活用した当社独自のコンセプトです。さまざまな物や場所に案内・作業指示などを投影することで、人流制御や行動支援に活用できます。ブースでは、車両やホームに誘導案内を投影するデモを実施。駅構内の混雑抑制や、災害時の迅速な避難誘導などに寄与するユースケースを提案します。



Omject（イメージ）

※1 RFIDは、無線周波数を利用して電子タグの情報を非接触で読み書きできる自動認識技術です。

■ 出展場所：インテックス大阪 4号館（4B-12）

「第2回 鉄道技術展・大阪2026」ウェブサイト
<https://www.mtij.jp/osaka/>

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)
【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号